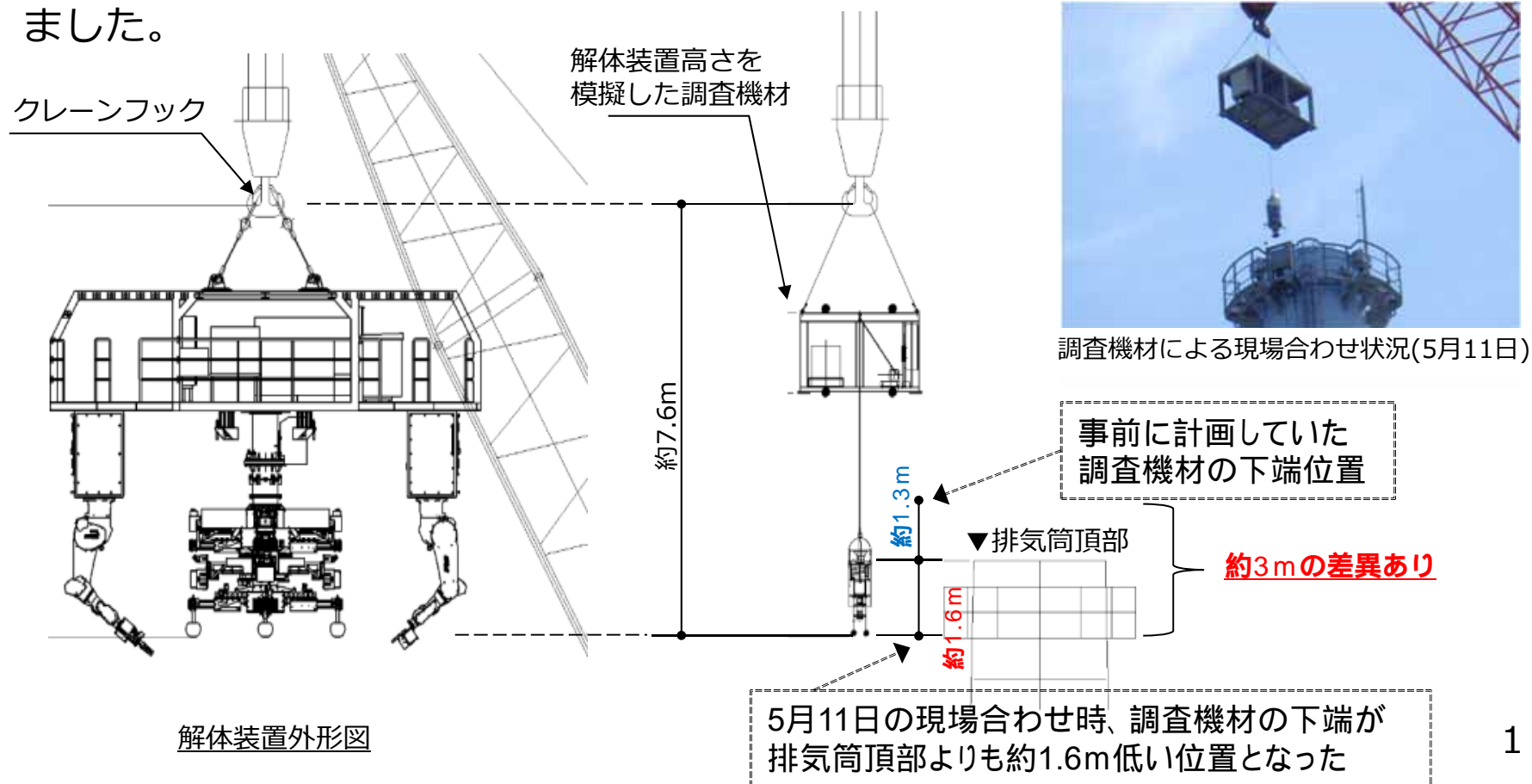


福島第一原子力発電所 1/2号機排気筒解体に向けた調整状況について

< 参 考 資 料 >
2019年5月23日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 高さ120mの1/2号機排気筒解体開始に向けた最終確認として、解体装置が最頂部に設置可能か確認するため、5月11日にクレーンに解体装置高さを模擬した調査機材を取り付けて現場合合わせを行ったところ、事前に計画していた高さと同約3mの差異（低い）があることを確認しました。
- 差異の原因としては、クレーンアーム部の角度表示の測定誤差を一つの可能性と推定しつつ、光波等を用いて、長さ・高さ等の実測を中心とした確認を進めてまいりました。



検証結果と今後の調整内容の検討状況

- 光波による実測等の結果、クレーンアームの角度は設定値と実際の角度に誤差がなかったことを確認するとともに、高さ等の実測から、最大巻き上げ時のワイヤーの長さ、計画と約4mの差異があることを確認しました。
- この差異が発生した要因は、リミットスイッチワイヤーの長さ約4mを、誤ってクレーン先端からフック上端までの距離約4mとして計画してしまったため、実際のワイヤー長さ約8mに対し、約4mの差異が発生しました。
- なお、排気筒の高さを実際よりも1m高い設定でクレーンの高さを計画していたことも確認され、5月11日の確認作業時には、約3mの差異が発生しました。

